



# SXM112A TOURMAX

クイックスタート・ガイド

**保証書在中**

\* 本書巻末にあります

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。  
このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。  
このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。



製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。



1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、 損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください。)
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告: 火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



<お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

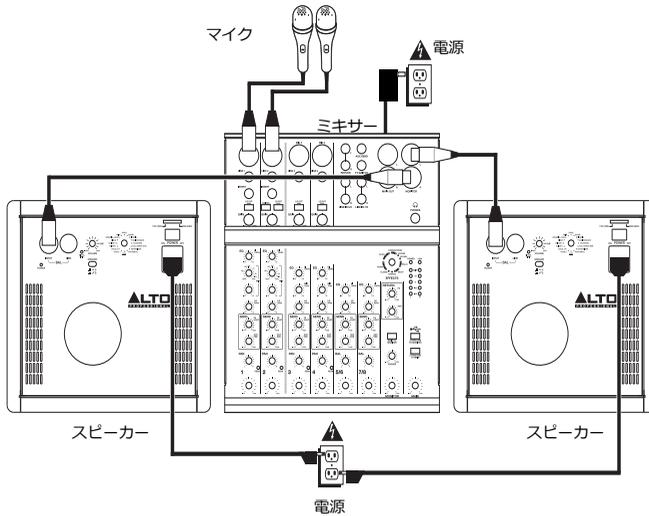
オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

## 梱包内容

- スピーカー本体
- 電源ケーブル
- クイックスタート・ガイド

## 接続例

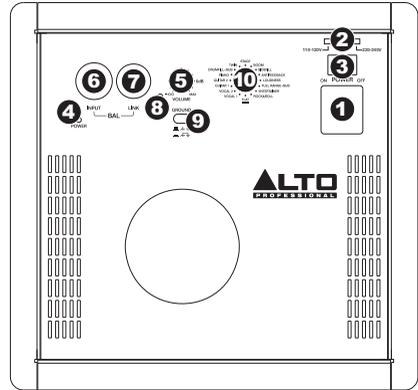


## 設置方法

本製品は、平らな床に設置するか、スピーカーを横にしてスピーカースタンド(35mm)にセットすることができます

## リア・パネル

1. **電源入力**：付属の電源ケーブルを接続し、反対側のコネクターを電源に接続します。ケーブルを抜き差しする時には、モニターの POWER スイッチが OFF になっていることを確認してください。
2. **電源セレクター**：2 種類の電源電圧を切り替えるスイッチです。日本仕様は 100V に固定されています。
3. **電源スイッチ**：製品の電源をオン／オフするスイッチです。電源をオンにする前に、VOLUME ノブがゼロになっていることを確認してください。
4. **パワーLED ランプ**：電源をオンにすると点灯します。
5. **ボリューム**：スピーカーの音量を調節します。
6. **インプット**：標準の 1/4" TRS または XLR ケーブル（別売）で音源とこの端子を接続します。マイクを接続することも可能です。
7. **リンク・アウトプット**：標準の XLR ケーブル（別売）でお持ちのスピーカーの入力端子と接続します。スピーカーはアクティブでもパッシブでも使用できます。
8. **シグナル・リミット LED**：モニターに送られる信号がクリップしたり歪んだりした時に点灯します。このライトが頻繁に点灯したり点きっぱなしになったりする時には、音源の音量を下げてください。
9. **グラウンド・スイッチ**：押すとスピーカーはグラウンドに接続され、ハムやノイズが消える場合があります。
10. **プリセット・セレクター**：会場に合わせて設定します。各設定については、プリセットの項を参照してください。



## プリセット

**FLAT** – 通常のフロアー・モニターの周波数特性になります。

**VOCAL 1** – FLAT に近い特性ですが、ハイパス・フィルターによって低音がいくらかカットされます。ボーカル主体の音楽に適しています。

**VOCAL 2** – これも FLAT に近い特性ですが、ハイパスおよびローパス・フィルターによって低音と高音がいくらかカットされ、中音域が強調されます。

**GUITAR 1** – ギターが主体の音楽に適しています。

**GUITAR 2** – アコースティック・ギターに適したプリセットで、アコースティック・ギターのホロウ・ボディから出る低音域を抑えるいっぽう、不足しがちなピックアップの高音域を強調します。（ギターを直接このモニターの INPUT に接続することもできます。）

**PIANO** – アコースティック・ピアノや電子キーボードに適しています。

**DRUMFILL+SUB** – ハイパス・フィルターでうなるような低音域を急峻にカットして、このモニターをサブウーファー（低音域のコントロールのため）と組み合わせた時に扱いやすくします。

**TWIN** – このモニターを 2 台組み合わせて使用する時に理想的な周波数特性が得られるように、低音域を抑えて高音域を強調します。

**STAGE** – 木製あるいは金属製の吊り床にモニターを置いた時の低音域の共振を抑えます。

**BOOM** – ブームスタンドに取り付けたマイクの近くにモニターを設置する時には、この設定にします。

**SIDEFILL** – モニターをサイドフィルとして使う時には、この設定にします。

**ANTIFEEDBACK** – フィードバックの最大の原因となる周波数をカットします。

**LOUDNESS** – 中音域を抑え、低音域と高音域を持ち上げた特性を持つプリセットで、小さな音量で長時間使用する場合に適しています。

**FULL RANGE+SUB** – サブウーファーと組み合わせて使用する時に、歪みやコイルのオーバーヒートによる出力低下を抑えるためのプリセットです。

**ENTERTAINER** – デジタル・キーボードとボーカル・マイク、カラオケまたは MP3 再生装置の組み合わせに最適な設定で、これらの装置を接続した場合にクリアなサウンドが得られるように、高音域と低音域が強調されています。

**ROCK&ROLL** – アンプのヘッドルームとスピーカーの耐入力をフルに活かして、最大限のダイナミック・レンジが得られる設定です。

**仕様**

**出力:** 400 W RMS 連続 (低音用 335 + 高音用 65 W)

800 W ピーク (低音用 670 W + 高音用 130 W)

**最大音圧レベル@ 1m:** 118 dB 連続、121 dB ピーク

**周波数特性:** プリセットの設定による

**ウーファー:** 12" (305 mm) 同軸型、2" (51 mm) ボイスコイル

**ツイーター:** 1" (25 mm) ネオジウム・ドライバー、1" (25mm) ボイス  
コイル

**指向性:** 70° H x 70° V 球面ホーン

**入力レベル:** + 4 dB ライン入力

**入力インピーダンス:** 30 kΩ バランス、15 kΩ アンバランス

**接続端子:** 入力 : 1/4" TRS または XLR  
リンク : XLR

**キャビネット:** 台形型デザイン、積層合板、黒色塗装仕上げ

**電源:** 100V、50/60 Hz

**寸法 (高さ x 幅 x 奥行き) :** 313 mm x 393 mm x 513 mm

**重量 (スピーカー本体のみ) :** 11.9kg